

第7回嘉麻市熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会 会議要録

1. 審議会等の名称 第7回嘉麻市熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会
2. 開催日時 令和5年5月30日(火) 19時00分～20時00分
3. 開催場所 嘉麻市役所 5階 委員会室2
4. 公開または非公開の別 公開
5. 非公開の理由 (会議を非公開とした理由)
6. 出席者
 - (1) 委員
井原委員 飯島委員 大田(晴)委員 山田委員 小野田委員
圓入委員 宮崎委員 深町委員 有田委員 高松委員
※欠席：大田(岱)委員、緒方委員
 - (2) 事務局
総合政策課長 大村輝生 総合政策課長補佐 松隈康典
地域活性推進係長 山口宏彰 地域活性推進係 児玉直人
地域活性推進係 伊藤奈津
7. 傍聴人数 3名
8. 議題及び審議内容
 - (1) 第6回会議要録について(資料⑥)
(事務局) 第6回会議要録についてご意見等あればお伺いしたい。
(※意見等なし)
 - (2) 木質バイオマス関係資料(資料18)
事務局より資料18について説明。
(委員長) 金額的な部分など、どれが一番いいかは何とも言えないが、答申書に記載するとした場合、『検討する』程度の文言で記してはどうか。
(委員) スイミングプラザなつきもバイオマスボイラーを検討していると聞いている。ボイラーの耐用年数が迫っているという事で検討していると聞いた。SDGsの観点からも様々なエネルギー検討が必要ではないか。
(事務局) 昨年10月以前は財政課に所属していたが、当時そのような話は伺っていない。施設の大規模改修となれば高額な財政投資が必要であるが、協議はなかったと認識している。
(委員) まだ検討段階だとは思いますが、関係者がスイミングプラザなつきの指定管理者との会議で伺ったそうである。近大の教授もそういった話をされていると聞いている。
(事務局) 関係課に確認し、次回報告する。
(委員) 嘉麻市は山林が多いため、木を伐採してチップの材料とすれば山林は整備され、また林業の雇用を生むことにもなる。国や県に申請する必要もあるかと思うが、助成金を活用できるのではないか。今回の提言に入れていただくことは可能か。
(事務局) 市の重要課題であるが、今回は小さな拠点の審議会であるため市への提言として関係課へお伝えする。

- (副委員長) 検討という文言を信用していないわけではないが、もう一步踏み込んだ言葉を入れてもいいのではないかと。一番大きなボイラーを導入するとなるとクリアする壁はあるかと思うが、出来る範囲で自然エネルギーを活かした設備を導入すると入れてはどうか。子や孫など次の世代に誇れるものを残したいと思っている。
- (委員) 薪ストーブなどでも良いという事か。
- (副委員長) 極端ではあるが、それくらいの振れ幅を持たせても良いと思っている。
- (委員) 建物の象徴として作る事と、発電設備とでは採算性が合わない。暖炉的な使い方をすると内容が異なるのではないかと。
- (副委員長) 文言を入れるとなると、どの資料のどの部分になるのか。
- (事務局) 施設整備方針資料の《その他(共通事項)》に入れてはどうかと考えている。
- (委員) 発電ではなく、ボイラーの資料はないのか。
- (委員) ボイラーと給湯は同じ意味として捉えている。
- (委員) 荒廃森林整備により切り倒された木々の有効活用のため、木質バイオマスボイラーの検討を行っていた。近隣では日田、田主丸、八女など事例があり視察にも行った。当時は半分程度補助が出ていたのではないかと。
- (副委員長) 先ほどの《検討》と《導入》についてはどのように答申書に示すことになるのか。
- (事務局) 導入についてはメリット、デメリットがある。今後安定的に施設運用することを考えたとき、《自然エネルギーの導入》という文言を入れてしまうと全体事業スケジュールに影響が出る可能性がある。事務局においては前回議論が上がったバイオマスボイラーを中心に調査したが、その他どのような自然エネルギーがあるのかは把握できていない。
- (副委員長) 検討材料の最大がボイラーである。振れ幅を持たせた上で導入ということであれば影響しないのではないかと。熊ヶ畑のシンボルとして次世代へメッセージを残したいと思っているが、皆さんの意見を伺いたい。
- (委員) 副委員長の意見に賛成である。自然エネルギーについて《検討》と《導入》では意味が違う。答申に対する文言は非常に大切だと思っている。
- (事務局) 委員の言われる事も十分承知しているが、事務局としては薪ストーブなどを施設に導入することにより、建築上や消防法の規制がかかる可能性を懸念している。あまり限定的な文言を入れてしまうと事業にも影響するのではと考えている。
- (委員長) 建築デザイン方針中の、自然環境を利用したデザインに係わる文言として薪ストーブなど自然環境を意識できる設備をつけたものをデザインするなどといった文言であれば取り入れやすいのではないかと。その文言で市の自然環境を考慮しているといった意見と理解できる。設計時のデザイン要素として考えるといいのではないかと。設備的にうまくいけば導入できる可能性もある。
- (副委員長) エネルギー要素がデザインに含まれるものなのか。
- (委員長) 風力発電を例えにすると、風車があるだけで電気が出来ているイメージである。実際のコスト面など精査が必要なため、検討という文言として記してはどうか。今後設計に落とし込む上で自然環境を利用したデザインの中にSDGsに対応した設備を加味するといえれば具体的な形が残るのではという提案である。
- (委員) 資料にもCO²排出量の減少と記載があり、きれいな温泉をイメージした。事務局が言われるように大変である事も理解しているが、強い言葉で答申できればと思う。

(委員) もうすぐ計画に入るのではないか。

(事務局) 審議会の答申内容を出来るだけ早い段階で設計につなげ、事業を進めたいと考えている。仮にボイラーを導入とした場合、間伐材などは誰が持ってくるのかなど精査の必要があり、長期的に運営できる施設とするには検討にも時間を要する。

(委員) 現在は研究が進んで竹が燃やせるボイラーもある。市は竹林の問題もあり、竹は1年程で成長するため有効に活用できるのではないか。そこでも産業が生まれエネルギーの循環も出来る。検討の必要はあると考えている。

(委員長) 技術的な話が出ているところであるが、当審議会の諮問内容として、建設基本計画をする段階での要点という意味での答申が求められており、今回は施設整備方針とデザイン方針といった2本の柱で答申してはどうか。施設そのものを審議する事ではなく、技術やランニングコストなどの詳細な検討は市内部で行う事とし、審議会意見としては、このような視点から検討してほしいということが言えると思うが、事務局はどのように考えているか。

(事務局) 委員長が言われるとおりと考えている。

(3) 施設整備方針及び建築デザイン方針について(資料16・資料17)
事務局より資料16、資料17について説明。(前回意見を基に修正したもの)
(※意見等なし)

(4) 熊ヶ畑地域拠点施設建設基本計画(案)等に関する答申について(資料19)
事務局より資料19について説明。

(委員長) 資料16および17を別紙として添付し、答申ということか。

(事務局) そのとおりである。

(委員長) 資料16および17のとおり答申するという事でどうか。

→(意見等なし)

本日の意見も踏まえ事務局に修正いただきたい。

(委員) 審議は終了ということか。

(事務局) 事前に送付させていただくが、ご意見等あれば修正し次回答申前に確認いただく。

※指摘事項：4ページ中『建築意匠デザイン方針』 → 『建築デザイン方針』へ修正

(5) その他

9. 配布資料

- ・資料⑥ 第6回会議要録(熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会)
- ・資料16 施設整備方針(熊ヶ畑地域)
- ・資料17 建築デザイン方針(熊ヶ畑地域)
- ・資料18 木質バイオマス関係資料
- ・資料19 熊ヶ畑地域拠点施設